

学校名 [ 岡田小学校 ]

氏名 [ 小原 眞喜子 ]

[ 小 ] 学校 [ 1・2・3 ]

年版 単元名 [ 考えよう 友だちのこと ] P 12～13

教科・領域名 [ 道徳 ] [ 時間 45分 ]

主な学習活動 (実際に行った活動)

指導の実際

【ねらい】

震災時、友達に支えられた子供たちの体験作文を読み、友達の大切さについて考える。

1. はじめに

- ・今日の避難訓練について振り返り、避難する時に大切なことを確かめる。
- ・3. 11の大震災の時にはみんなで助け合ったことを話し合う。

2. P12の作文を読む。

「あいちゃん」に会ったとき、「わたし」はどんな気持ちになったのでしょうか。

- ・うれしかった。
- ・会えてうれしかった
- ・

3. P13の作文を読む。

どうして「ぼく」は元気になったのでしょうか。

- ・友達といっしょで楽しかったから。
- ・友達ができてうれしかったから。

4. 「友達がいてよかった」と思った経験について考える。

「友達がいてよかった」と思ったことはありますか。それは、どんなときですか。

- ・いっしょに遊んでくれる。
- ・話を聞いてくれる。

5. 友達の存在について考える。

お友達が悲しかったり辛かったりしたとき、みんなにはどんなことができるでしょう。

- ・いっしょに遊ぶ。
- ・声をかけてあげる。

6. まとめ

- ・お互いを思いやることが大切なこと、生きる力になることを確かめる。

《準備物》

- ・ 作文拡大用紙

学習活動1

- ・ 避難する時に大事なことを振り返る。
- ・ 3. 11の震災で覚えていることを話し合う。



学習活動2

友達がいてよかったと思ったことについて自由に発表する。

学習活動3

友達にしてあげたことを思い出して発表する。